

令和3年度 まちづくりのあらまし ～市政の方針と予算の概要～

山下市長は第1回市議会定例会に本年度のまちづくりの根幹となる予算案を提出し、市政の方針を述べました。これを受け同定例会では予算案などについて、活発な議論が繰り広げられました。今月は、同定例会で審議された本年度の予算と市政・教育行政の方針概要をお知らせします。

市政の方針

深川市長 山下貴史

新型コロナウイルス感染症は、いまだに収束が見通せず、その影響はさまざまな分野に及んでいます。本市においても、感染症の拡大防止などを最優先にしながら、市民生活の維持と地域経済活動の回復を目指し、積極的な対策を講じてきたところであり、本年度もより住みよいまちとなるよう各種施策を展開し、人口減少に負けない活力あるまちの実現に向けて全力で取り組んでいきます。

本市の財政状況は、依然として厳しい状況にあると受け止めていますので、引き続き健全財政を堅持しつつ、課題解決のため重点的な施策の実施による市政運営にあたります。また、本年度は第5次深川市総合計画の最終年度です。引き続き、まちづくり施策の推進に努めていきます。

以下、本年度の主要課題や重点施策などについて申し上げます。

1 新型コロナウイルス感染症対策

昨年2月に新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、市民のみなさんの安全・安心の確保に向け、拡大防止対策に取り組んでいるところです。ワクチンの接種については、体制を整備

し、国が勧める優先順位に基づき円滑に接種が行えるよう努めていきます。
市立病院については、感染症に対する検査・治療体制を維持しつつ、院内の感染防止対策にも努め、安全・安心な医療体制の提供に最大限の努力をしていきます。



を図り、原料の供給を担う果樹農家の支援に努めていきます。

2 産業・経済対策

本市の基幹産業である農業については、農畜産物の消費拡大対策に取り組むほか、幅広い人材の受け入れやスマート農業を通じた省力化技術導入に向けた取り組みを推進します。

観光産業は、観光需要の減少により、さまざまな業種への影響が続く懸念があるため、コロナ禍に対応した施策を推進し観光需要の回復に努めます。

夏冬まつりをはじめとする各種イベントについては、地域活性化を促す重要な役割を担っていることを踏まえ、コロナ禍に即した在り方を模索していきます。

地域資源の活用については、特産品の新たな需要の掘り起こしと販売促進に取り組むほか、雇用創出やふかがわパークのブランド化を目的に、農畜産物処理加工施設の運用を継続します。さらに、ふかがわシールドの安定生産

3 地方創生の推進

国は、感染症による意識・行動変容を捉えたひと・しごとの流れの創出や、地域の特徴を踏まえた自主的・主体的な取り組みを支援していくとしています。本市においても、人を惹きつける地域づくりや恵まれた自然環境などの魅力発信に取り組むなどとして、引き続き地方創生を推進していきます。

ひとを呼び込むためには、これまでの移住施策とともに、関係人口の創出が重要です。そのため、休暇を楽しみながら働くことの推進を図る深川市ワーケーション事業や、地域力の維持・強化の担い手として期待される地域おこし協力隊の増員などに取り組みます。

4 安全・安心のまちづくり

本市に住む方が等しく、安全・安心に暮らせるよう、医療・福祉サービス

の充実や防災意識の向上、災害を見据えた施設整備などが重要です。

そのため、災害に強い地域社会や地域経済の実現と迅速な復旧、復興体制の確立を目的とした深川市強靱化計画に基づいた取り組みを進めていきます。

また、地域の防災活動に対する意識の醸成を図るとともに、自主防災組織の結成促進に努めます。

施設整備では、新庁舎建設基本計画

に基づき基本設計を策定し、現在、実施設計の策定を進めているところであり、防災拠点としての機能強化を図るとともに、市民に親しまれ利用しやすい庁舎の実現に向けて、令和5年度の完成を目指し、建設工事に着手します。

また、深川市立高等看護学院は、建設工事の最終年次であり、看護学生の

安全の確保と修学環境の整備を図り、今後の地域医療を支える看護師の養成を行うための施設となるよう、工事を進めていきます。

高齢者支援については、男性のための介護予防教室や、高齢者などを対象にしたごみ出し支援事業を新たに実施します。

消防・救急については、複雑多様化

する災害に対応するため、救助用資機

材を搭載した災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を導入するなど、更なる体制の強化を図り、市民の安全・安心の確保に努めます。

公共交通については、路線バスの維持確保に努めるとともに、公共交通空白地域におけるデマンド交通の導入に向け実証実験を行います。

教育行政方針

小学校では、新学習指導要領が昨年4月から全面实施となったほか、本年4月からは、中学校においても全面实施となります。本市では、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況にあっても、社会を生き抜く力を育てていく教育の実現に向けて、新たな時代の教育振興に取り組んでいきます。

第一に、学校教育振興計画に基づき、次の4つの基本目標を着実に実行していきます。①確かな学力を育成し、社会での自立に必要な基礎を育む教育の推進②豊かな心と健やかな体を育成する教育の推進③家庭や地域に信頼される学校づくりの推進④安心して学び、安全に過ごすことのできる機能的な教育環境の整備

第二に、生涯学習社会の実現に向けて、社会教育中期計画やスポーツ振興計画などに基づき、計画的・効果的な事業に取り組んでいきます。

【主要施策の概要(抜粋)】

《学校教育の充実》

- ・外国人英語指導助手を小学校に配置するとともに、外国語指導の加配教諭を活用し、引き続き外国語活動と外国語教育の充実を図っていきます。
- ・新学習指導要領に基づき、児童・生徒が目標を設定し成長を自己評価するキャリアパスポートを本年度から導入し、キャリア教育の充実を図っていきます。
- ・学習者用タブレット端末を児童・生徒に1人1台配置するなど、ICT(情報通信技術)環境を活用した主体的・対話的で深い学びを効果的に実践します。
- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置し、多様化する児童や保護者が抱える問題の解決を支援します。
- ・未来を担う子どもたちを地域全体で育てていくため、全ての小・中学校で導入しているコミュニティ・スクールの取り組みを進めていきます。
- ・地域の未来を担う人材を育成する、市内公立高等学校2校の魅力ある取り組みとそのPRなどに対する支援を継続します。

《社会教育の充実》

- ・拓殖大学北海道短期大学の協力を得て実施している市民公開講座などを継続して実施します。
- ・学校・家庭・地域の連携による家庭教育・学社融合推進事業や、地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業などを実施します。
- ・子どもの自主性やリーダーシップを養うため、リーダー養成事業などを実施し、地域社会で実践できる力を身に付けられる場の提供に取り組めます。

《文化・スポーツの振興》

- ・優れた芸術文化を間近で感じ、芸術文化活動への理解と意欲を高めるアウトリーチ事業を引き続き全ての小・中学校で実施します。
- ・関係機関・団体などと連携し、誰もが気軽にスポーツや健康づくりに親しめるよう取り組んでいきます。
- ・改修工事を実施した市民テニスコートや3年次計画で改修中の桜山パワーアップロードなどを活用し、市民の健康増進と流入人口の増加を図ります。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

- 高齢の方などパソコンに不慣れな方を対象に講座を開催します。
 - ・ICT活用セミナー開催事業 290万円
- チケット制店舗周遊イベントを開催し、中心市街地の事業者の事業継続を支援します。
 - ・街なか活性化応援事業 210万円
- 深川産農作物の消費拡大に向けた事業を実施します。
 - ・農産物消費拡大対策事業 705万円
- 感染症を予防するための店舗機能の向上を支援します。
 - ・感染予防対策店舗等リフォーム事業 500万円
- 恒常的かつ長期的な労働力確保に取り組む企業を支援します。
 - ・地域産業雇用確保支援事業 300万円
- 雇用の促進や販路拡大のため行う広告宣伝事業に取り組む市内事業所を支援します。
 - ・雇用・売上プロモーションサポート事業 250万円
- 感染症対策として行う設備などの改修を支援します。
 - ・緊急経済対策住宅リフォーム助成事業 3,000万円
- 合宿費用を助成するなど招致活動を推進し、合宿数の回復に努めます。
 - ・合宿誘致促進事業 300万円

2. 経済・産業に関する分野

農・林業

- 農畜産物の高品質化と消費拡大、農業生産体制の整備を図るため、農業者などを支援します。
 - ・農業ステップアップ推進事業 1,000万円
- 農業生産基盤を整備するため関係機関と連携し、基盤整備事業に取り組みます。
 - ・農業競争力基盤強化特別対策事業 520万円
- 本市の基幹産業である農業の担い手を確保・育成し、優良農地の円滑な継承を推進するため設立した農業法人を支援します。
 - ・深川未来ファーム運営支援事業 3,650万円
- 有害鳥獣による農作物被害の防止を推進するため、捕獲した個体を適正に処理する施設を運営します。
 - ・有害鳥獣駆除事業 2,305万円
- 民有林の保育間伐や林道の維持修繕に係る費用などを補助します。
 - ・森林整備促進事業 1,004万円

ものづくり産業

- 企業誘致活動を推進するとともに、既存企業の支援に努めます。
 - ・企業誘致等推進事業 4,388万円
- ふるさと納税の推進と合わせ、コメや加工品などの返礼品を有効に活用し、地場産品のPRに努めます。
 - ・ふるさと納税 2億円

商業・サービス業

- 企業や商店の経営安定と経営体質強化のため、支援事業を推進します。
 - ・中小企業支援事業 2億2,511万円
- 中心商店街のにぎわい創出に向けた取り組みなどを支援します。
 - ・商工振興 1,566万円

観光・交流

- 道の駅「ライスランドふかがわ」で特別キャンペーンを開催するなど、施設の満足度向上に努めます。
 - ・道の駅維持管理事業 2,345万円
- 周辺自治体と連携した広域観光の推進により、観光知名度のさらなる向上と観光客の誘客に努めます。
 - ・観光振興事務 1,465万円

雇用の確保

- 関係団体と連携し、新規卒者などの確保を図ります。
 - ・若年者雇用対策事業 150万円
- 働きながら子どもを産み育てられる労働環境づくりを一層推進します。
 - ・育児休業取得支援事業 90万円
- 働き方改革をはじめとする労働諸条件の改善に向けた啓発と周知に努めます。

重点事業・主要施策の概要

令和3年度予算の重点事業・主要施策の概要と該当する予算額などを抜粋してお知らせします。

1. 福祉・健康・医療に関する分野

新型コロナワクチン接種事業の実施

7,253万円



市民のみなさんが安全・安心に新型コロナワクチンを接種できるよう、接種体制を整備し円滑な実施に努めます。

高齢者等ごみ出し支援事業の実施

140万円



高齢の方や障がいのある方など、家庭系ごみを集積所まで運ぶことが困難な方のごみ出しを支援します。

障がい者福祉

- 北空知障がい者支援センターや関係各事業所と連携し、各種障がい福祉サービスを提供します。
 - ・自立支援介護給付費等 5億130万円

高齢者福祉

- 認知症施策の強化を図ります。
 - ・認知症地域支援・ケア向上事業 761万円
- 地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みを推進します。
 - ・地域包括支援センター運営 404万円

子ども・子育て

- 独身男女が会える機会を創出するほか、結婚新生活を支援します。
 - ・少子化対策出会い創出支援等事業 25万円
 - ・結婚新生活支援事業 120万円
- 安心して出産・子育てができる環境を整えます。
 - ・保育所保育料の軽減制度 3,278万円
 - ・子ども医療費支給事業 5,458万円

市民の健康と地域医療

- 良質で安定した医療サービスを提供します。
 - ・市立病院の運営 54億9,403万円

男性のための介護予防教室の実施

271万円



介護予防に関する知識の普及や生活機能の低下を予防するため、男性を対象に、運動などを行う介護予防教室を実施します。

市立高等看護学院の建設

6億1,637万円



学生の安全確保や修学環境の整備を図るため、老朽化が著しい市立高等看護学院の校舎を新たに建設します。

4. 人材育成と教育・文化・スポーツに関する分野

社会教育

- 地域全体で学校を支援します。
 - ・学校支援地域本部事業 21万円
- 生涯学習社会実現のため、幅広い年齢層に対応した事業の充実に向けた取り組みを推進します。
 - ・公民館活動運営 118万円

学校教育

- 一已小学校の屋内運動場について、照明などを耐震化します。
 - ・一已小学校非構造部材耐震化工事 357万円
- 学習指導専門員を教育委員会に配置し、児童生徒の学力向上を図ります。
 - ・学習サポートプログラム事業 418万円
- 地元公立高等学校の入学率確保と教育環境の向上を図るため、魅力ある学校づくりを支援します。
 - ・公立高校の魅力づくり事業 756万円
- 私学振興として、拓殖大学北海道短期大学とクラーク記念国際高等学校への入学率確保や地域との交流促進などの取り組みを支援します。
 - ・拓殖大学北海道短期大学振興 5,021万円
 - ・クラーク記念国際高等学校振興 17万円

芸術・文化・スポーツ

- 全国や全道大会に出場する方や市内で開催する全国および全道規模のスポーツ大会に助成します。
 - ・文化・スポーツ大会派遣助成およびスポーツ大会開催助成 30万円
- スポーツ合宿のさらなる増加を図るため、3年次計画で桜山パワーアップロードを改修します。
 - ・桜山パワーアップロード改修(3年目) 4,900万円

5. その他行政サービスに関する分野

第6次深川市総合計画の策定 100万円



まちづくりの基本方針となる第6次深川市総合計画を策定します。

- ワーケーション(仕事と休暇を両立させた働き方)に取り組む首都圏企業の方を受け入れ、関係人口の創出に努めます。
 - ・深川市ワーケーション事業 46万円

3. 快適な生活基盤の構築に関する分野

新庁舎の建設 4億1,046万円



市役所庁舎は老朽化や耐震性能の不足など多くの課題を抱えているため、令和5年度の完成を目指し、新庁舎の建設工事に着手します。

災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車の導入 8,506万円



多様化・複雑化する自然災害に対応するため、救助用の機材などを搭載した災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を導入します。

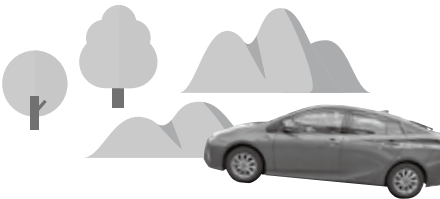
交通・道路

- 都市基盤の整備を進めます。
 - ・道路網の整備 4億8,188万円
 - ・橋の修繕 2億3,400万円
- 路線バスの運行費用の損失額を補助するなどして、路線バスの維持確保に努めます。
 - ・公共交通確保対策(路線バス等) 2,613万円
- 効率的な除排雪作業の実施や除雪サービスセンターの運営を支援し、冬期間の快適な生活環境を確保します。
 - ・除排雪事業 3億8,870万円
 - ・生活安心除雪サービス事業 987万円

住環境

- 地域活性化やまちなか居住推進のため、持ち家の新築や耐震改修などの費用の一部を助成します。
 - ・民間住宅等助成事業 2,550万円
- 老朽化した市営住宅を建て替えます。
 - ・あけぼの団地建設事業 1億3,647万円
- 安全な水道水を安定的に供給します。
 - ・水道事業 8億7,980万円
- 各種計画に基づき設備更新を行うほか、水洗化の普及促進に努めます。
 - ・下水道事業・農業集落排水事業・個別排水事業 11億6,740万円

デマンド交通実証実験の実施 320万円



路線バスの代替交通や公共交通空白地域の移動手段として、菊丘・吉住・更進・内園・納内8区の1の一部でデマンド交通の実証実験を実施します。

市民生活の安全

- 地域防災計画に基づき防災教室や防災訓練を開催するほか、自主防災組織の設立を推進します。
 - ・防災対策 146万円
- 犯罪のない安全で安心した生活ができるよう、関係機関と連携して地域ぐるみの防犯活動を推進します。
 - ・防犯の推進 151万円

移住・定住

- 移住支援員を配置し、相談対応や体験事業などを実施するほか、東京23区内から転入し北海道の職業紹介サイトを通じて就職した方に支援金を交付します。
 - ・移住・定住の推進 1,241万円
 - ・深川市UIJターン新規就業支援事業 200万円

令和3年度各会計予算

項目		令和3年度 予算額	令和2年度 当初予算額	増減額	増減率
一般会計		168億1,000万円	160億2,000万円	7億9,000万円	4.9%
特別会計	介護保険	22億3,300万円	23億800万円	△7,500万円	△3.2%
	国民健康保険	30億5,600万円	31億700万円	△5,100万円	△1.6%
	後期高齢者医療	4億1,370万円	3億9,640万円	1,730万円	4.4%
	農業集落排水	1億8,140万円	1億7,700万円	440万円	2.5%
	下水道	9億8,600万円	9億5,170万円	3,430万円	3.6%
計		68億7,010万円	69億4,010万円	△7,000万円	△1.0%
企業会計	水道	8億7,980万円	8億6,820万円	1,160万円	1.3%
	病院	54億9,403万円	54億42万円	9,361万円	1.7%
	計	63億7,383万円	62億6,862万円	1億521万円	1.7%
合計		300億5,393万円	292億2,872万円	8億2,521万円	2.8%

【問合先】

★市政の方針
企画財政課企画係
☎26-2246

★教育行政方針
学務課管理係
☎26-2332

★予算について
企画財政課財政係
☎26-2622

※各方針や予算の
詳細は市ホームページ
に掲載しています。